

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	University of California Davis	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2023年 3月 ~ 2024年 3月	記入年月日	2024年 4月 16日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: political science			
科目名	American National Government	科目名	Structures academic writing
授業内容	アメリカの議会政治の歴史や憲法の改編遷移について	授業内容	留学生に向けたアカデミックな文章の書き方を習うクラス
授業形式	週2の大講義と週1のディスカッション	授業形式	相互性もあり、ディスカッションも多い
単位数	3	単位数	3
サイズ	大講義は100人以上。ディスカッションは10人程	サイズ	20人ほど
難易度 Course No.	内容の難しさは高くない	難易度 Course No.	簡単
宿題の量	readingの予習が毎週40p~100p	宿題の量	毎週ライティングの課題はあるが、難しくない
コメント	とにかく予習復習をしないとついていけないし、それを怠ると毎度ディスカッション内で行われるテストの点が取れない。スピード感があつた。	コメント	きちんと授業に出席し、課題をコツコツとやっていたら全く問題ない。教授もとても優しいし、周りもみんな留学生なのでハードルが低い。
科目名	Spcoal policy	科目名	business law
授業内容	アメリカの社会保障制度について、法律や制度、非営利団体の活動など幅広い視点から考える講義。	授業内容	ビジネスローを事例をもとに学ぶ。教授が一人で講義中ほとんど話している。質問も可能だった。
授業形式	講義形式だが発言の機会も非常に多い。	授業形式	講義
単位数	3	単位数	3
サイズ	30人ほど	サイズ	20人程度
難易度 Course No.	適度。教授が寛容	難易度 Course No.	適度
宿題の量	特にないが課題に向けた事前準備が可能だった	宿題の量	特になし
コメント	資料の量は適度だが、制度面や政策の現状などアメリカ人が持っている前提知識に及ばない点を予備知識として入れて行った方が授業がより身になると感じた。	コメント	テストのための暗記は必要だが、実例とともに覚えられるので良いと思った。サマー期間なので人が少なかった。

科目名	Introduction to communication	科目名	data visualization
授業内容	会話レベルからメディアなど様々なコミュニケーション媒体を分析する	授業内容	データから統計から、グラフ化するスキルを身につける、
授業形式	オンラインのオンデマンド	授業形式	講義とラボ
単位数	3	単位数	3
サイズ	オンラインなのでわからない	サイズ	15人ほど
難易度 Course No.	微妙	難易度 Course No.	適度
宿題の量	毎度クイズがあった	宿題の量	毎度予習ビデオを予め見ていく。ラボのクイズのための復習
コメント	とにかくマテリアルが膨大な上に毎度扱う内容が異なるので、結局何を勉強したのかよくわからなかった上に、オンラインだったので個人的には難しく感じた。	コメント	PhDの教授が非常に丁寧に向き合ってくれたので、苦手な数学を使った統計も理解することができた。オフィスアワーも非常に手厚かった。
科目名	Chicano politics/ policy	科目名	Political global inequality
授業内容	チカーノコミュニティ目線で、連邦、CA州の政策を見る。	授業内容	不平等はどのようにして測るのかということから、政治的原因はどこにあるのかやグローバル化との関係などを学んだ。
授業形式	講義	授業形式	講義
単位数	3	単位数	3
サイズ	50人ほど	サイズ	100人ほど
難易度 Course No.	真面目に取り組んでいれば問題ない	難易度 Course No.	普通
宿題の量	なし	宿題の量	なし
コメント	特定のコミュニティから見る連邦、または州政策は、新たな視点で面白かった。。実際履修している生徒の多くがチカーノのバックグラウンドを持っていて、彼彼女らが直面している課題を生で知ることができて興味深かった。	コメント	スライド内容を覚えてテストに臨む形式だったので、覚える量は非常に多かった。横軸ではアメリカだけでなく地域関係なく不平等をグローバル目線で捉えること、縦軸は現在だけでなく歴史を遡って比較して考えた。
科目名	government and economy	科目名	comparative parties
授業内容	資本主義と民主主義の関係	授業内容	政党とは、政党政治とはについて。国はアメリカに限定していない。
授業形式	講義(発言機会が非常に多い)	授業形式	講義だが質問形式なので非常に相互性が担保されている
単位数	3	単位数	3
サイズ	40人ほど	サイズ	150人ほど
難易度 Course No.	難しい	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	なし	宿題の量	資料の読み込みはある
コメント	内容が専門的であり前提知識も必要だが、様々な理論を学ぶので非常にタメになる考え方や内容が知識になると思った。	コメント	内容は難しくないが、普遍の定義がないものを考えていくのでレポートの構成や内容には苦労した。

6	<p>医療保険についてお書きください</p> <p>渡航前に加入した保険 OSSMA PLUS Cplanと上乗せ</p> <p>留学先大学にあった医療保険制度 UC Davisが提供するAcademic health planのメールが来ていたが、無視していいと書いてあったので入らなかった。</p> <p>留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください) なし</p>																																										
7	<p>費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)</p> <p style="text-align: center;">(現地通貨)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">渡航旅費</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">220,000 円</td> </tr> <tr> <td>帰国旅費</td> <td style="text-align: right;">995</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>引越し(往復で)</td> <td style="text-align: right;">150</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>保険</td> <td></td> <td style="text-align: right;">90,000 円</td> </tr> <tr> <td>語学研修費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>留学先学費</td> <td style="text-align: right;">32,800</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>本学学費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td style="text-align: right;">20</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td style="text-align: right;">6,400</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td style="text-align: right;">1,900</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>その他(旅行)</td> <td style="text-align: right;">2,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td> (ポスキャリ)</td> <td style="text-align: right;">700</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td> ()</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">48,485</td> <td style="text-align: right;">7,029,900 円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">換算率 (<input type="text" value="1"/> = <input type="text" value="145"/> 円)</p>	渡航旅費		220,000 円	帰国旅費	995	円	引越し(往復で)	150	円	保険		90,000 円	語学研修費		円	留学先学費	32,800	円	本学学費		200,000 円	教材費	20	円	住居費	6,400	円	食費	1,900	円	その他(旅行)	2,000	円	(ポスキャリ)	700	円	()		円	合計	48,485	7,029,900 円
渡航旅費		220,000 円																																									
帰国旅費	995	円																																									
引越し(往復で)	150	円																																									
保険		90,000 円																																									
語学研修費		円																																									
留学先学費	32,800	円																																									
本学学費		200,000 円																																									
教材費	20	円																																									
住居費	6,400	円																																									
食費	1,900	円																																									
その他(旅行)	2,000	円																																									
(ポスキャリ)	700	円																																									
()		円																																									
合計	48,485	7,029,900 円																																									
	<p>受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください なし</p>																																										
8	<p>留学前の準備について教えてください</p> <p>日本から持参すべきもの 化粧品類やスキンケア用品は、アメリカにもありますが値段と量の割に肌に合わないとなると勿体無いので持っていくといいと思う。パーティーに行くつもりなのであればそれなりの洋服もあるといい。就活を向こうでするつもりならば、対策本やスーツなども持っていくべきであった。(実際自分は持って行っていなかったので親が会いに来るついでに持ってきてもらった)カリフォルニアは国際免許証ではなく自国の免許証所持が条件なので、そちらの免許証も持って行った方がよい。</p> <p>留学前にしておけばよかったこと 特にないが、やっておいて良かったことは自分が学びたいことを明確にして行ったので留学期間中もブレることなく自分のやるべきことに集中できた。英語力を向こうで上げることを期待していくのも良いが、やはりネイティブとできる会話レベルによって得られる機会の数も変わってくると思うのでできるだけ準備しておくのが良いと思う。</p>																																										

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>特になし。強いていうならばホストマザーのスペイン語アクセントの強い英語は難しいと感じることもあったが、話すスピードもゆっくりなので問題はなかった。外食で出てくる一皿の量はずっと多いと思っていたが、余って持って帰って次の食事に当てられたので助かっていた。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>留学の目的であったアメリカ議会政治の分極化を軸に学ぶことができたので満足している。日本から見て不思議に思うアメリカの政治のことやそれ以外にも文化のことなど、なんでも現地の生徒に質問しまくって疑問を解消していったのも楽しかった。精神的な面で言うと、一人暮らしをしたことがなかったので全て自分で生活をするという力がついたのは間違いなく自信になったと感じる。ストレスを感じることも、ホームシックになることもなく一年ずっと楽しかったのは友達を向こうで作ることができたからに尽きると思う。友達に支えられて1年間安定したメンタルを保てた。(辛くなくても支えて助けてくれる人がいることで、落ち込み過ぎずに済む)</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>4年生に戻ってセミナーのみ受講し、卒業論文を書いて卒業。就職活動は、ポスキャリアも含めて帰国前に内定をいくつかいただいたので今はあまりしていない。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>私自身は留学を強く希望していたわけではなく、津田で勉強していくうちに留学して勉強したい分野を見つけ、現地に行きました。結果、勉強面はもちろんですがそれ以外にも得られたことが非常に大きかったと感じています。日本にいても素晴らしい環境はたくさんありますが、そこを一步出て、言葉、文化の違う場所にいき、時にそこでまた共通の価値観を持つ人に出会う面白さを体験することに価値があると思いました。もちろん「違い」を学んで認めることも楽しいです。「留学をして人生が変わった」と言うほど留学にいけば何かを変えてくれると言うものではありません。ただそれを意味のあるものにできるのは自分しかないことは確かで、私自身はこの経験を通して自分に新しい視点や考え方を取り込めたと思います。まだ帰国してすぐで、留学を終えた今の自分を客観的に評価できていませんが、おそらく留学前の自分と比べて、1年間1人異国で成し遂げたことが自信となっている気がします。皆さんにもこの高揚感を味わってもらえたらと思います。もし、留学に行くことになったら、どんなこともやってみてください。ありきたりな言葉ですが、本当になんでもやってみてください。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>アジア人はかなりの割合を占めて在籍しているので、日本人もそれなりにいます。また、語学学校にはほとんど日本人しかいないのが現状のようです。もちろんDavisでも、そういったコミュニティを避けて友達を作ることは十分可能ですが、より少ないアジア人、日本人の環境を留学の条件に望んでいるのであれば、別の大学も視野に入れていいと思います。Davis HousingServiceを使って行う手続きは最小限の方がいいです。とにかくお金のことしか考えていないタイプで、いい仲介業者ではありません。(ホストを探す場合には、他にあまり方法がないので仕方ないですが)また自転車もそこでレンタル契約できますが、避けた方がいいです。期間、値段、借りられるものの質を考えても、自分で探して中古で買ったりし、いらなくなったらまた売るなどした方がお金の無駄にならずに済みます。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する (写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。